



## 36. 消 防 章

所属： \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 団 \_\_\_\_\_ 隊 スカウト氏名： \_\_\_\_\_

	考 査 細 目	考 査 方 法	合格年月日	認 印
(1)	一般家庭における火災の原因を3つ以上あげ、自宅の火元を点検し、点検漏れになりがちな所について説明すること。	口述または記述		
(2)	自宅にある防火用具と消火器材の使用法一覧表を提出すること。	作品 (使用法)の提出		
(3)	自宅、隊本部、自校およびその付近に火災が起こった場合、正確に消防署へ火災通報が急報できること。	実演・口述または記述		
(4)	自宅付近半径100mにある消火栓、あるいは消火に利用できる池、川を地図上に記載すること。	作品(地図)の提出		
(5)	山火事の多い季節(月名)とその原因を知り、山火事の消し方について説明すること。	口述または記述		
(6)	次のスカウト用具が出火または消火時、役立つ場合を説明すること。 ロープ、おのまたはなた、グランドシート、フライシート、毛布、笛、布バケツ	実演		
(7)	消防署または経験者の協力を得て、小型消火器による消火訓練の経験があること。	報告書の提出		
(8)	昼夜を問わず、出火または延焼の場合に、いかに安全に家人を退避させ、貴重品を搬出するかの方法について、その計画を立案提出すること。	作品 (計画書)の提出		
(9)	次の場合を想定し、自己の安全と救出方法を述べ実演すること。 ア 火災または煙に包まれた家の中から脱出する方法 イ 幼老病者の救出法 ウ 衣服に火がついた者を救う法 エ 火煙中から失神した者を救い出す方法	実演		
(10)	地震等の災害時の火元の始末について説明できること。	口述または記述		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 \_\_\_\_\_ 印